

消臭剤にたよらない「トイレの臭い解決法」

トイレに不快臭が発生する最大の原因は、男性の小用の飛散と飛沫です。洋式便器で立ってする場合はもちろん、小便器のまわりにも尿が飛び散っています。男性は飛沫を防止する工夫が必要です。次が換気方法の間違いです。トイレの窓を開けておくと、外の風が入ってきて、臭いがガラリなどを通して室内に逆流してきます。換気扇の機能を発揮させるには、窓は閉めておくことが条件です。掃除にも注意が必要です。床だけでなく壁も掃除が必要です。ブラシや掃除道具をトイレ内に置いておくと、時間がたつと悪臭を発生させます。ほ

とんどの方が忘れていた掃除箇所が、便器の縁の内側です。手鏡でのぞいてみると、その汚れにびっくりします。節約に反することですが、流す水の量をあまり少なくすると、結局汚れや詰まりの原因になります。小便も大便も途中で少し水を流すのが臭いを残さないコツです。また、換気扇の作動もあまり短時間だと換気効果が半減します。消臭剤をあまり使用しなくても、水洗トイレは、本来臭いはしないものです。上記のことを実践されているお客様から、まったく臭いのしない夢のようなトイレに生まれ変わったと喜ばれています。

誰にでも簡単にできる「たたみの天日干し」

たたみの天日干しは、カビ・ダニを駆除し、害虫や雑菌の退治もできる優れた習慣です。高気密・高断熱・24時間換気の最新住宅でも、たたみの手入れを怠るとダニや雑菌が繁殖します。今の住環境に合った、誰にでもできる効果的な天日干し法があります。半日もあれば一人ででもできます。大事なことはたたみと下地板の間に空気を

入れることです。庭がない方は、室内でもいいですから、たたみを起こして逆V字形に立てかけることが理想です。そのようなスペースがない方は、たたみと下地板の間にビール瓶を数本挟み込むだけでも有効です。この程度のことだとできると思います。この程度のことと、たたみは、息を吹き返すことになります。

現状のままでできる「臨時の24時間換気」

24時間換気設備のない住宅でも、トイレや洗面室に換気扇があれば24時間換気を行うことができます。24時間換気のポイントは、給気口（外の空気が入ってくる入り口）と空気の流れの確保です。まったくお金をかけなくてもできる方法を紹介いたします。給気口は窓をほんの少しだけ開けることで代用します。空気の流れは、ドアや引き戸にほんの少し隙間をつくれれば可能です。ドアに小物を挟んだり、引き戸は少し開けておきます。各部屋に給気口をつくり、

空気の流れをつくることができれば完成です。あとは、トイレか洗面室の換気扇を連続作動させます。試しに丸一日行ってみてください。結露が多くカビの臭いがひどい部屋でも効果が表れます。二三日連続して臨時の24時間換気を行えば、その効果に驚きの声が上がります。その効果が大きいほど、その住宅は換気が悪かった証明になります。まれに、台所に給気口がなく、レンジフードが機能していない場合があります。たかが給気口、されど給気口です。